

## ヒューマンサイエンス (病理病態学)

2 単位 (必修) 1 年 (前期, 後期)

## Human Science(Pathology)

坂下 直実・教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 泉 啓介・教授 / 医学専攻 生体防御腫瘍医学講座, 桑原 知巳・准教授 / 医学専攻 微生物学講座

足立 昭夫・教授 / 医学専攻 微生物学講座, 安友 康二・教授 / 医学専攻 微生物学講座

【授業目的】循環障害, 腫瘍, 炎症, 感染症, 免疫異常など病気の原因と発生機序について, また, 細菌, ウイルス, 寄生虫など微生物学の基礎知識について, 分子レベルで理解できるように教育するとともに, 細胞レベル, 臓器レベル, 個体レベルの変化と関連させることを目的とした講義を行う。

【授業概要】佐野教授 (前期): 人体に生じる各種疾病に見られる細胞や組織の形態変化を遺伝子・分子の変化, および個体の身体症状と関連づけて解説する。泉教授 (前期): 病理解剖, 腫瘍の原因, 腫瘍の形態学, 発がん機構について講義する。

桑原助教授 (前・後期): 細菌の分類, 構造, および増殖について解説し, 細菌の生物学的特徴を理解するための講義を行う。

足立教授 (後期): ウイルスの分類, 構造, および増殖機構などの基本性状を解説する。代表的なヒトウイルスに関しては, その病原性発現機構や抗ウイルス戦略などについても講義する。

安友教授 (後期): 生体を外来異物から守るべく進化した免疫システムの基本的概念とともに, 寄生虫をはじめとする微生物が免疫システムから逃避する機構についての概念を習得することを目的とした講義を行う。

【授業方法】オムニバス形式

【履修上の注意】遅刻して受講した学生は, 欠席とみなすことがある。講義は e-learning 化していない。

【授業計画】

	大項目	中項目	担当
1.	昼間の講義 (学部学生への講義を利用する場合)		
2.	病理学 1	細胞の病的変化	佐野教授 (M3 の 60 分授業)
3.	”	循環障害	”
4.	”	細胞の分化と増殖の異常	”
5.	”	障害の修復	”
6.	”	炎症とその周辺	”
7.	病理学 2	病理解剖	泉教授 (M3 の 60 分授業)

8.	”	がんの原因	”
9.	”	がんの種類と悪性度	”
10.	”	前がん性病変	”
11.	”	発がん機構	”
12.	細菌学	細菌学の歴史	桑原助教授 (M2, M3 の 60 分授業)
13.	”	細菌の構造と分類	”
14.	”	細菌の増殖	”
15.	”	細菌の代謝	”
16.	ウイルス学	ウイルス学概論	足立教授 (M2 の 60 分授業)
17.	”	ウイルスの構造と分類	”
18.	”	ウイルスの複製	”
19.	免疫学	免疫学の基礎	安友教授 (M2 の 60 分授業)
20.	”	抗体の多様性の獲得機構	”
21.	”	抗体の機能	”

【成績評価】出席率, 講義の内容の理解度など。再試験は行わない。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217563>

【連絡先】

⇒ 坂下 .

⇒ 桑原 (088-633-9229, [tomomi@basic.med.tokushima-u.ac.jp](mailto:tomomi@basic.med.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 月曜日の 17:00~ 18:00 (e-mail により適宜時間調節を行う。))

⇒ 安友 (088-633-7048, [yasutomo@basic.med.tokushima-u.ac.jp](mailto:yasutomo@basic.med.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 月曜日の 11: 00~ 12: 00 (e-mail により適宜時間調節を行う。))

⇒ 他の教員についても, e-mail にて時間調節の上, 面談する。

【備考】出席率が 60% に満たない学生は, 受講しなかった講義を, 次学年に追加して受けること。また, 出席率が 60% に満たない場合はレポートとすることがある。